

ベトナム国タイビン省にある国立タイビン医科薬科大学と当社との共同事業であるベトナム人看護師養成事業について、最新の情報をお届けします。

## 日本語による看護専門教育をおこないました(4期生)

2019年12月5日～9日、4期生を対象とした看護専門教育が行われました。今年も社会医療法人社団 三思会 東名厚木病院(神奈川県)の篠原副看護部長、下島教育担当課長の両名に講師として、老年看護学や在宅看護論、国際・災害看護学などの授業をしていただきました。

日本のテキストを使い、日本人講師が全て日本語で授業を行なうということもあり、学生たちの期待と緊張感が高まる中で授業が始まります。高齢者体験やトリアージタッグの演習、グループワークなどを取り入れた『日本式』の授業で楽しみながら学習をすることができました。

5日間を終えた学生からは「授業があつという間に終わりました。もっと日本のことを勉強したいです。でも、出会いがあれば別れもありますね。看護の勉強はとても難しいと感じました。もっと勉強しなきゃいけないと思います。」といった感想が寄せられました。

また、ベトナムと日本の看護師の違いについて考える機会となり、様々な意見が出されました。「どの国の看護師も自分の仕事を頑張っています。ただ、日本の看護師は患者の多くのことをケアしなくてはなりません。ですから、いま病院で実習するとき、もっと患者の色々なことに注意していきたいです」と新たな気付きを得た学生もいて、各々にとって有意義な5日間となったようです。



トリアージタッグの演習



高齢者体験の一場面

## 交流会を開催しました

12月21日、毎年恒例となった交流会が催され、4期生(4年生)～7期生(1年生)が参加し、学年をこえた交流を楽しみました。

当日は専門科目と日本語科目の両立について意見交換の場が設けられて先輩から後輩へアドバイスをしたり、クラスごとの出し物やビンゴをしたりと盛り上がりました。また、1年間の成績優秀者16名が表彰され、奨学金を受け取ることとなりました。

楽しく2019年を締めくることができたことを嬉しく思います。



表彰された学生たち

新年を迎えて

明けましておめでとうございます。旧年は日越両国の皆様と並ならぬご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

旧年は1期生が日本での就労を開始し、事業としてひとつの壁を越えることが出来たと感じております。しかしそれも新たなスタートと肝に銘じ、多くのご支援くださっている皆様にお応えすべく、より一層の努力を続けて参る所存です。皆様には本年も変わらぬお引き立てを賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

【問い合わせ】

 株式会社イノベーションオブメディカルサービス

(担当：望月・福田)

神奈川県厚木市船子 587-1 Tel/046-220-0777 Fax/046-220-0322 Web/http://vietnam-nurse.com/